

◀ はじめに

スナップ・FeLV/FIVコンボは血清、血漿及び全血中の猫白血病ウイルス（FeLV）抗原、猫免疫不全ウイルス（FIV）抗体を同時に検出できる、酵素免疫抗体法（ELISA）を用いた検査キットです。

FeLV 群特異的抗原 p27 の測定は FeLV 感染の診断に用いられません。FIV 抗体の測定は、猫が FIV に感染していることを示します。

スナップ・FeLV/FIVコンボは抗p27モノクローナル抗体及び精製FIV不活化抗原により測定を行い、また陽性コントロールスポット、陰性コントロールスポットを有します。

コンジュゲートは酵素で標識した抗 p27 モノクローナル抗体と精製 FIV 抗原の混合液です。サンプルとコンジュゲートを混合することにより、サンプル中に p27 抗原が存在すれば、この抗原は酵素標識抗 p27 モノクローナル抗体と結合します。また、サンプル中に抗 FIV 抗体が存在すれば、この抗体はコンジュゲートの酵素標識 FIV 抗原と結合します。この混合液をデバイスに加えると、混合液は反応膜を横切り、各反応スポットに達します。FeLV スポットには抗 p27 モノクローナル抗体が吸着されており、これが混合液中の p27 抗原 / 抗 p27 抗体免疫複合体と結合します。また、FIV スポットには FIV 抗原が吸着されており、これが混合液中の FIV 抗体 /FIV 抗原免疫複合体と結合します。デバイスのアクティベータを押し下げることにより、あらかじめデバイスに充填された洗浄液と発色剤が自動的に放出されます。

FeLV サンプルスポットの発色は、FeLV 抗原の存在を示します。FIV サンプルスポットの発色は、FIV 抗体の存在を示します。

◀ 使用目的

猫の血中における FeLV 抗原、及び FIV 抗体の検出

◀ キットの構成

	5 テスト用	15 テスト用
コンジュゲート	4.5 mL	4.5 mL
成分：西洋ワサビ由来ペルオキシダーゼ標識 抗 FeLV 抗原 p27 モノクローナル抗体及び FIV 抗原		
デバイス	5 個	15 個
デバイスに含まれる試薬		
* 酵素基質溶液		
成分：過酸化水素含有テトラメチルベンチジン（TMB）		
* 洗浄液		
成分：界面活性剤含有クエン酸緩衝液		
* 以下の成分を吸着した反応膜		
成分：抗 FeLV 抗原 p27 モノクローナル抗体 リコンビナント FIV 抗原 マウス IgG 大腸菌抽出物 抗西洋ワサビ由来ペルオキシダーゼ抗体		
サンプルバイアル	5 個	15 個
トランスファーピペット	5 本	15 本

◀ 保存方法

本キットは 2-7℃で保存して下さい。

◀ 使用期限

キットの外箱に記載

◀ 使用検体

猫の血清、血漿または全血

- * 全血を使用する場合には、必ず抗凝固剤（EDTA、ヘパリン等）を加えること。すぐに使用しない場合は、冷蔵（2-7℃）で約 1 週間保存可能。
- * 血清または血漿の場合、新鮮、凍結および冷蔵（2-7℃）保存されたものいずれも使用できる。約 1 週間程度冷蔵保存可能。検体を長期間保存する場合には、-20℃以下で凍結保存する。
- * 検体は転倒混和してから使用すること。
- * 検体は室温に戻してから使用すること。
- * 凍結保存した検体、および古い検体は遠心してから使用すること。
- * 若干の溶血は検査に影響を与えない。
- * EDTA およびヘパリンは検査に影響を与えない。

IDEXX

製造販売元

アイデックス ラボラトリーズ株式会社

東京都杉並区和泉 1-22-19

製造元

アイデックス ラボラトリーズ

米国メイン州

06-14259-06

SNAPは、米国および/またはその他の国におけるIDEXX Laboratories, Inc. の商標または登録商標です。

© 2017 IDEXX Laboratories, Inc. All rights reserved.

06-14259-06



スナップ®・FeLV/FIVコンボ

動物用医薬品

体外診断用医薬品

FeLV 抗原 / FIV 抗体同時検査用キット

SNAP® FeLV/FIV Combo

U.S. Vet. Lic. No. 313

Product Code 502A.02

◆ 使用上の注意

【一般的注意】

1. 定められた使用方法を厳守すること。
2. 本キットは使用目的において定められた目的にのみ使用すること。

【使用時の注意】

1. 検体に関する注意
 - (1) 血清、血漿または全血が使用可能である。
 - (2) 全血を使用する場合には必ず抗凝固剤（EDTA、ヘパリン等）を加えること。
2. 検査時の注意
 - (1) サンプルバイアル、およびトランスファーピペットは検査ごとに新しいものを使用すること。
 - (2) 必ず同梱されている試薬を使用すること。
 - (3) 検査中はデバイスを常に水平に保つこと。
 - (4) 使用前にアクティベーターを押さないように注意すること。また、検体を加える前にアクティベートしてしまったデバイスは使用しないこと。
 - (5) アクティベートしたデバイスは強い光にさらさないこと。
 - (6) 本キットおよび検体（被検品）を冷蔵庫で保管する場合は、室温に戻してから使用すること。
 - (7) 感染のおそれのある血液などの取扱い及び廃棄は慎重に行うこと。

【取扱い上の注意】

1. 外観又は内容に異常を認めたものは使用しないこと。
2. 使用期限の過ぎたキットは使用しないこと。
3. 異なる製造番号の試薬を組み合わせて使用しないこと。
4. 使用済みの容器等は、地方公共団体条例等に従い処分すること。

【保管上の注意】

1. 小児の手の届かないところに保管すること。
2. キットの品質に影響を与えるおそれがあるので、直射日光、高温又は凍結を避けて保管すること。

◆ 使用方法

注意：

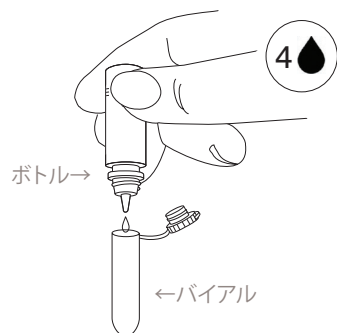
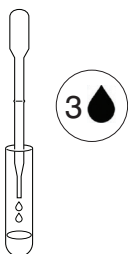
- * 製造工程での精度管理のため、各スポットはあらかじめ青く染色されているが、結果には影響を及ぼさない。
- * 過度に加熱しないこと。

重要：

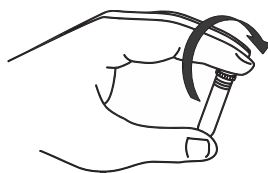
使用前にアクティベーターを押さないように注意すること。

◆ 操作手順

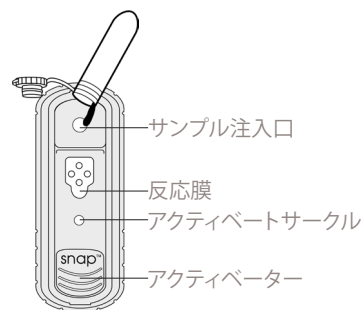
1. 検体・キットは、あらかじめ室温（18–25℃）に戻す。
2. 付属のピペットを用いて検体（抗凝固剤を加えた全血、血清または血漿）3滴をサンプルバイアルに分注する。
3. コンジュゲートの入ったボトルを垂直に保ちながら、コンジュゲートをバイアルに4滴加える。



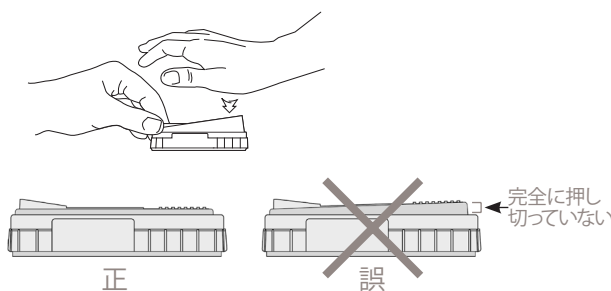
4. バイアルのふたを閉め、3–5回の転倒混和により検体とコンジュゲートを良く混ぜ合わせる。



5. デバイス本体を水平に置き、バイアル中の検体全てをサンプル注入口に注ぐ。サンプルは反応膜を横切りアクティベートサークルの方向に流出する。



6. サンプルがアクティベートサークルに少しでも見えたら、完全に通過する前にアクティベーターを押す。通過するのを待たないこと。このときアクティベーターが本体基底部に水平になるまで完全に押し下げること。



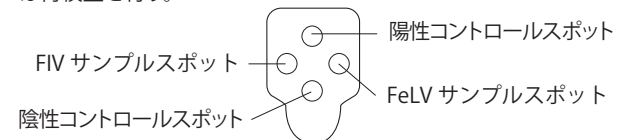
※ 60秒経過後もアクティベートサークルに達しない場合には、サンプルが反応膜を通過した時点でアクティベーターを押す。

※ 6がうまく行われないと、バックグラウンドが発色したり、スポットが発色しない等の現象がみられることがあり、判定保留となる。

7. 10分後判定を行う。

◆ 判定

反応膜上の各スポットの発色により結果を判定する。サンプルスポットの発色は、検体中のFeLV抗原またはFIV抗体の存在を示す。陽性コントロールスポットが青色に発色しなかった場合には再検査を行う。



陰性

陽性コントロールスポットのみ青色に発色した場合。

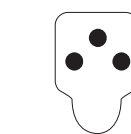


陽性

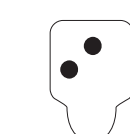
FeLV抗原陽性 FeLV抗原及びFIV抗体陽性 FIV抗体陽性



陽性コントロールスポット及びFeLVサンプルスポットのみ青色に発色した場合。



陽性コントロールスポット、FeLVサンプルスポットおよびFIVサンプルスポットのみ青色に発色した場合。



陽性コントロールスポットおよびFIVサンプルスポットのみ青色に発色した場合。

判定保留

1. バックグラウンドでの発色が著しく判定が困難な場合。
2. すべてのスポットが全く発色しない場合。

◎判定保留の場合には再検査を行う。

陰性コントロールスポットが青色に発色した場合
陰性コントロールスポットは非特異反応を示唆します。

陽性



陰性コントロールスポットの発色がFeLVサンプルスポットおよびFIVサンプルスポットの発色と比較して薄い場合には陽性と判定する。

判定保留



陰性コントロールスポットの発色がFeLVサンプルスポットまたはFIVサンプルスポットの発色より同等あるいは濃い場合には再検査を行う。